

2017年11月21日

【ニュースレター】

年末年始の空き巣対策

**2016年、空き巣被害は20分に1件発生！年末年始を含む冬～春に増加
年末年始に家を空ける人は、新聞だけでなく年賀状の配達も停止して空き巣対策を！**

早いもので、今年も残すところあとわずかとなりました。年末年始の時期は、帰省や旅行のために自宅を長期間留守にすることで、空き巣被害に遭わないか不安を感じている方も多いと思います。

ALSOKでは、不安を抱えている方へ防犯対策の参考にしていただくため、空き巣犯の傾向と、年末年始にとるべき対策をまとめました。

トピックス

- 統計データから読み解く、空き巣の傾向……………P2
 - 2016年、空き巣被害は約20分に1件のペースで発生
 - 空き巣被害は冬から春にかけて増加する傾向が
 - 空き巣に遭う確率が最も低かったのは「秋田県」、最も高かったのは「茨城県」
 - 地域コミュニティでの防犯の取り組みは減少 自宅への防犯設備設置は増加
- 空き巣が標的にする家の3条件……………P7
- 留守を悟られないための4つの対策……………P8
- 空き巣に狙われにくくする3つのポイント……………P9
- 年末年始の空き巣対策に有効な商品・サービス……………P10

＜本件に関する問い合わせ＞

A L S O K 広報部

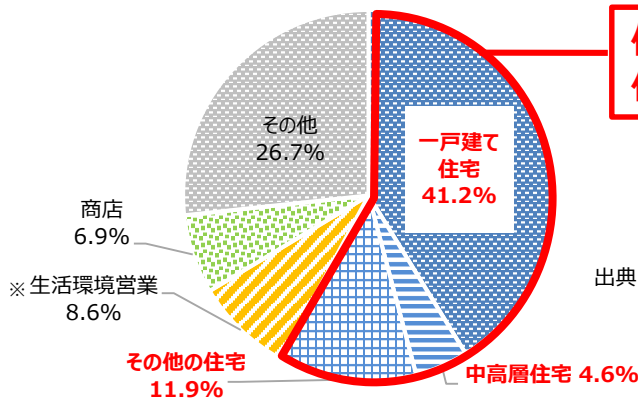
Tel. 03-3478-2310 E-mail koho@alsok.co.jp

統計データから読み解く、空き巣の傾向

警察庁の統計によると、侵入窃盗の認知件数は年々減少しており、**2016年における認知件数は前年比-11.5%となる76,477件**でした。**そのうち約6割（約4万4千件）は住宅で発生**しています。

侵入窃盗 発生場所別認知件数（2016年）

(N = 76,477)



侵入窃盗のうち、約6割（44,204件）が住宅で発生している。

※生活環境営業とは・・・

一般ホテル・旅館、公衆浴場、映画館劇場、ゲームセンター、カラオケボックス、マンガ喫茶・インターネットカフェ、深夜飲食店及びその他の飲食店など

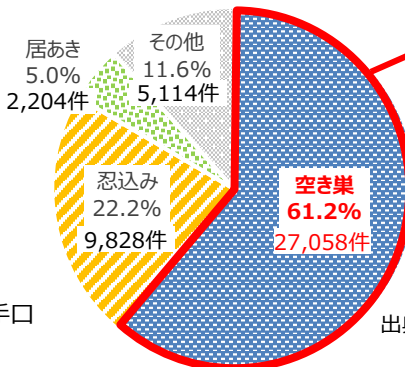
出典：警察庁「平成28年の犯罪 18 侵入窃盗 発生場所別 侵入口・侵入手段別 認知件数（2017年）」をもとに作成

住宅で発生した侵入窃盗の手法別認知件数（2016年）

(N = 44,204)

住宅で発生する侵入窃盗には主に3つの手法がありますが、その中でも最も多いのが、**家人の不在時に侵入する「空き巣」の手法**です。2016年には、**およそ20分に1件のペースで空き巣被害が発生**しました。

空き巣・・・家人が留守にしている間に侵入する手法
忍込み・・・夜間、家人の就寝時に侵入する手法
居あき・・・家人が在宅中に気付かれないように侵入する手法



約6割が、家人の不在時を狙う「空き巣」。
20分に1件のペースで被害が発生。

出典：警察庁「平成28年の犯罪情勢 住宅で発生した侵入窃盗の手法・住宅形態別認知件数（2017年）」をもとに作成

【参考】実際の被害件数は認知件数の1.5倍以上？

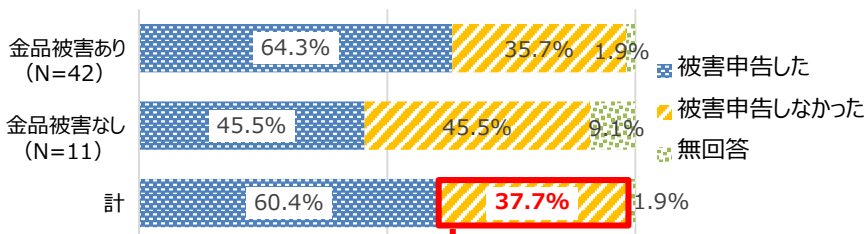
法務省の法務総合研究所では、警察等に認知されていない犯罪の件数（暗数）がどのくらいあるのかを調べるため、一般国民を対象としたアンケート調査を行っています。2012年の調査では、不法侵入の被害に遭ったことがある人のうち3人に1人は、警察などに被害を届け出ていないという結果になりました。

また、中には被害に遭ったことに気付かず、別件で逮捕された侵入犯の押収品などから初めて侵入されていた事実を知るといった、被害者自身が侵入被害に遭ったことを認識できていないケースも数多く存在するといわれています。

これらのことから、実際の被害件数は警察の「認知件数」を大幅に上回っていると考えられています。

不法侵入被害者 被害申告有無の割合（金品被害の有無別）

(N = 53)



侵入窃盗被害者のおよそ3人に1人は警察に届け出ていない

実際の被害件数は、警察の認知件数を大幅に上回っている可能性が高い

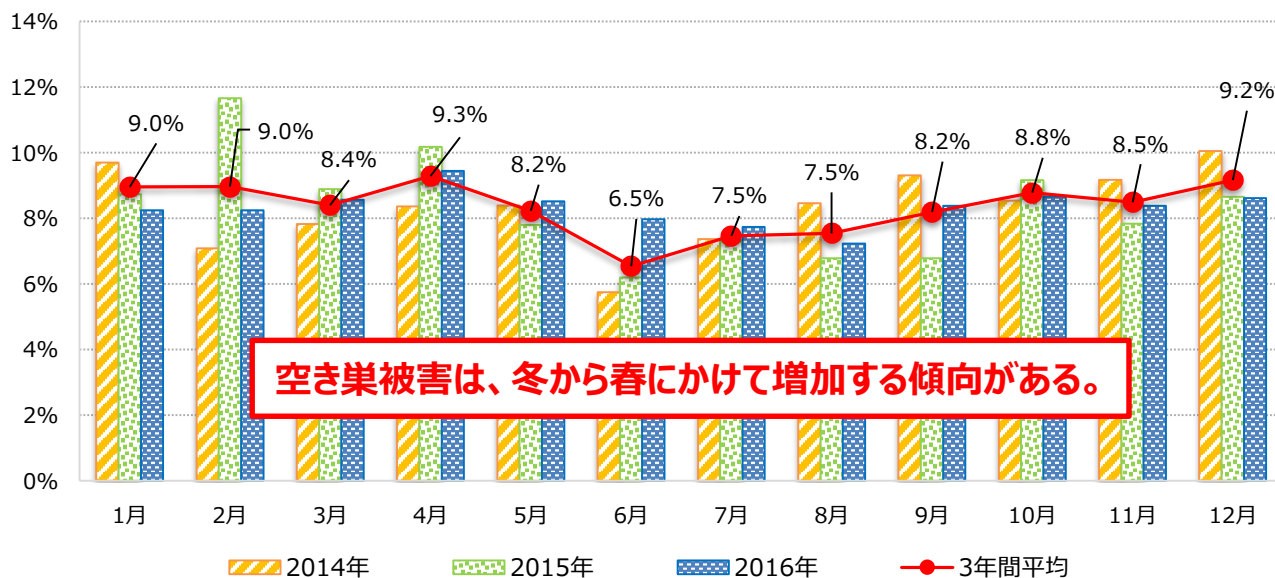
出典：法務省・法務総合研究所「犯罪被害に関する総合的研究 -安全・安心な社会づくりのための基礎調査結果（第4回犯罪被害者実態（暗数）調査結果）金品被害の有無別 不法侵入被害申告の有無（2013年）」をもとに作成

■ 空き巣被害の実態について

年末年始の時期は特に、帰省や旅行などで自宅を長期間留守にすることで、空き巣被害に遭わないか不安を感じている方も多いと思います。

下のグラフは、2014年から2016年にかけて、東京都内で発生した空き巣の月別発生比率を表したものです。年末年始の時期に顕著に増加するとまでは言えませんが、**冬から春にかけての季節は、1年のうちで比較的空き巣被害が多くなる時期**であることが分かります。

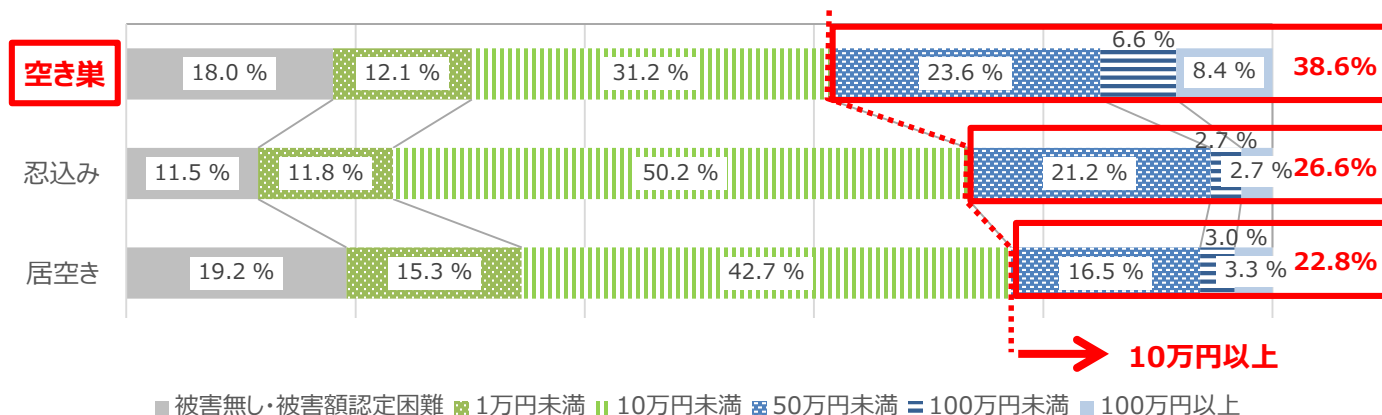
東京都 空き巣の認知件数の月別発生比率（2014年～2016年）



※警視庁「警視庁の統計（2014年～2016年）」をもとに作成

家人の在宅中や就寝中に侵入し、気付かれないように盗みをはたらく「忍込み」や「居空き」に比べ、**誰もいない家に侵入する「空き巣」は、1件あたりの被害額が高額になる**傾向が見られます。

侵入窃盗 手口別 1件あたりの被害額の割合



出典：警察庁「平成28年の犯罪 51 窃盗 手口別 被害程度別 認知件数（2017年）」をもとに作成

在宅中に侵入される「忍込み」「居空き」と比べ、「空き巣」の方が1件あたりの被害額が大きくなる傾向が見られる。

空き巣の認知件数を地域別でみると、地域差があることがわかりました。空き巣の認知件数が多かった5府県と少なかった5県を表したものが下表の左側で、1位の愛知県（3,132件）と47位の秋田県（43件）との間には70倍以上もの差が見られました。

さらに、各都道府県の世帯数を加味し、何戸につき1件の被害が発生しているか（空き巣遭遇率）を計算したところ、最も確率の高かったのは茨城県（890戸に1件）で、最も遭遇率が低かったのは秋田県（9,907戸に1件）でした。

「空き巣の認知件数」が最も多かったのは、「愛知県」。
「空き巣遭遇率」が最も高かったのは、「茨城県」で、890戸に1件の被害が発生。
認知件数、遭遇率ともに最少だったのは、「秋田県」。

空き巣認知件数の多い都道府県ランキング

順位	都道府県	認知件数	前年順位
1位	愛知県	3,132件	1位
2位	千葉県	2,252件	5位
3位	東京都	2,171件	2位
4位	埼玉県	1,716件	6位
5位	大阪府	1,701件	4位

空き巣遭遇率の高い都道府県ランキング

順位	都道府県	認知件数	世帯数	遭遇率 (○戸に1件)	前年順位
1位	茨城県	1,373件	1,221,978	890	1位
2位	愛知県	3,132件	3,214,669	1,026	2位
3位	岐阜県	679件	809,888	1,193	3位
4位	千葉県	2,252件	2,811,702	1,249	7位
5位	福岡県	1,642件	2,371,459	1,444	4位

順位	都道府県	認知件数	前年順位
43位	山形県	78件	37位
44位	徳島県	76件	40位
45位	島根県	74件	46位
46位	青森県	71件	43位
47位	秋田県	43件	47位

(認知件数全国平均：577件)

順位	都道府県	認知件数	世帯数	遭遇率 (○戸に1件)	前年順位
43位	山形県	78件	411,919	5,281	38位
44位	長崎県	115件	635,020	5,522	44位
45位	大分県	86件	533,406	6,202	42位
46位	青森県	71件	589,887	8,308	45位
47位	秋田県	43件	426,020	9,907	47位

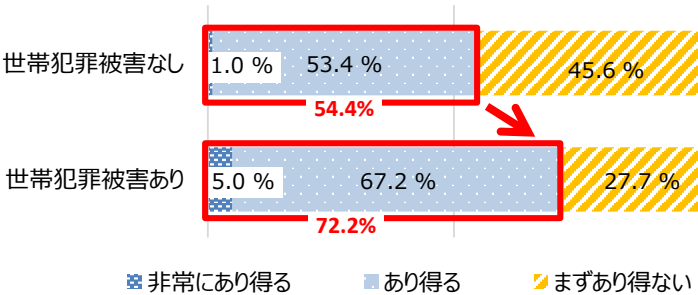
(遭遇率全国平均：2,120戸につき1件)

出典：警察庁「平成28年の犯罪 5 年次別 窃盗 手口別 認知・検挙件数及び検挙人員【(1)空き巣】(2016年、2017年)」および、総務省「住民基本台帳人口・世帯数 人口動態 (都道府県別) (総計) (2016年、2017年)」をもとに作成

空き巣によって受ける被害は、金品だけではありません。「何者かが家に侵入した」という事実による精神的ショックは大きく、「また侵入されるかもしれない」という不安とストレスに悩まされてしまう方は多いようです。

まずは、空き巣などの被害に遭わないよう、7ページ以降をご覧ください。防犯対策をきちんと行うようにしましょう。

被害経験の有無別 不法侵入の被害に遭う不安



出典：法務省・法務総合研究所「犯罪被害に関する総合的研究 -安全・安心な社会づくりのための基礎調査結果 (第4回犯罪被害者実態 (暗数) 調査結果) 世帯犯罪被害の有無別 不法侵入の被害に遭う不安 (2013年)」をもとに作成

■ 空き巣の侵入手段の実態

空き巣の侵入方法は、「**ガラス破り（41.6%）**」、「**鍵の閉め忘れである「無締まり（37.6%）」**」の2つが大半を占めています。

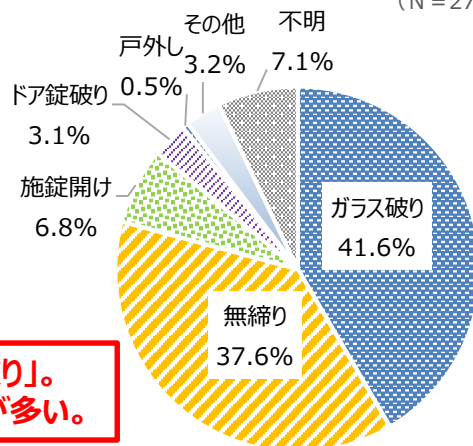
空き巣犯は、「周囲に気付かれずに破ることができる窓はないか」、「カギをかけ忘れていない窓はないか」という視点から標的を物色すると言われています。

家を空ける前には、施錠を徹底するとともに、侵入経路となりうる窓には防犯フィルムや補助錠、警報ブザーの設置といった対策を施しましょう。

空き巣の侵入手段で最も多いのは「ガラス破り」。
次いで、無締りの窓・扉から侵入するケースが多い。

住宅対象空き巣の侵入方法の割合（2016年）

(N = 27,058)



出典：警察庁「平成28年の犯罪情勢 侵入手段別住宅対象空き巣・忍込み・居空き認知件数（2017年）」をもとに作成

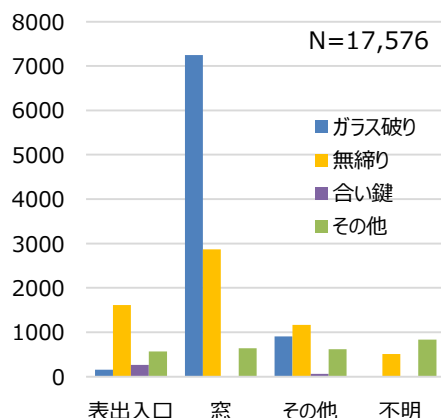
一概に「住宅」といっても、一戸建てから高層マンションまでその形態は様々で、空き巣の侵入経路や侵入手段はそれぞれ大きく異なります。下のグラフは、住宅形態別の侵入経路と侵入手段を表したのですが、**一戸建住宅では「窓」から「ガラス破り」で侵入される手口の割合が特に多くなっています。**

一方、**共同住宅では、一戸建住宅と比べて「無締り」となった箇所から侵入される割合が高くなっており**、「エントランスにオートロック扉があるから」、「高層階だから」と油断して施錠を疎かにする住人の隙が狙われていることがわかります。共同住宅高層階を狙う窃盗犯は、屋上や非常階段などからベランダへ侵入し、ベランダ伝いに隣の住戸へ移動して、次々と犯行を行います。**マンション全体の防犯対策として、①屋上に簡単に立ち入れないようにする、②想定される侵入犯の動線上に防犯カメラを設置する、③共用部からベランダに飛び移れそうな場所があれば忍び返しや有刺鉄線を設置する、といった対策が効果的**でしょう。各住居でも、施錠を徹底することはもちろん、補助錠や防犯フィルム、窓が開くと鳴動する警報ブザーを設置するなど、窃盗犯が簡単に侵入できない環境づくりに努めましょう。

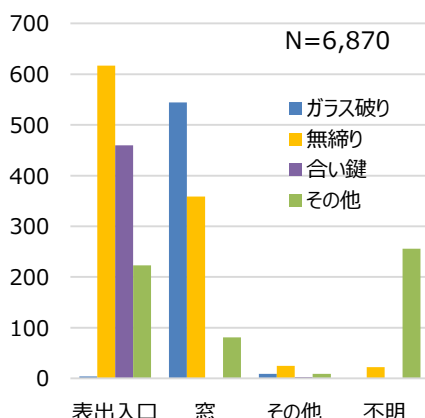
さらに、「表出入口」から「合い鍵」を使って侵入する手口も多く見られます。郵便受けなど玄関先に鍵を隠す方法は空き巣の格好の標的となりますので絶対に止めましょう。また、鍵に刻印された番号を他人に教えたことで鍵を複製され侵入された事例もありますので、「鍵を他人に見せない」、「普段から番号をシールなどで隠す」といった心構えも大切です。

空き巣の発生場所別 侵入口・侵入手段別 認知件数

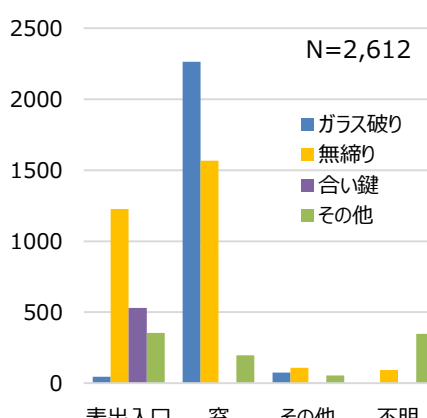
一戸建て住宅



共同住宅（3階建以下）



共同住宅（4階建以上）



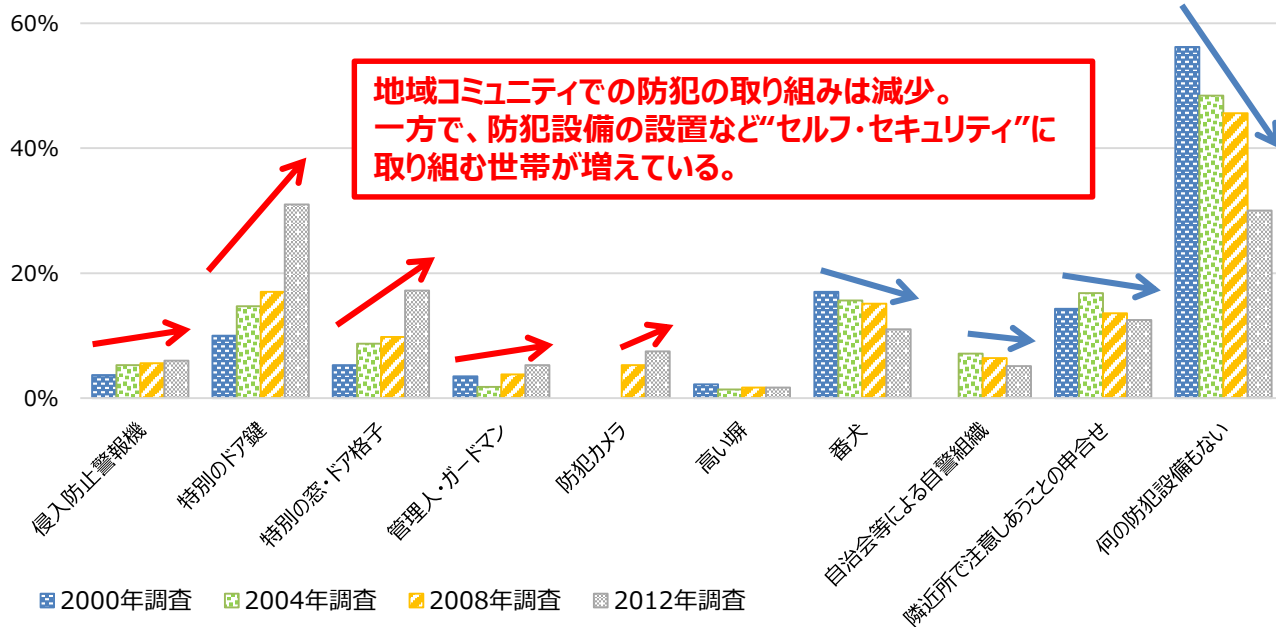
出典：警察庁「平成28年の犯罪情勢 発生場所・侵入口・侵入手段別 空き巣・忍込み・居空き認知件数（2017年）」をもとに作成

■各家庭の防犯対策の変化

法務省の法務総合研究所のアンケート調査によると、隣近所同士や自治会など「地域コミュニティ」での防犯の取り組みは減少傾向にあり、各種防犯設備の設置など「自分で自分の家を守る」取り組みは増加しています。

侵入窃盗の認知件数は2002年をピークに減少傾向にあります。各家庭への防犯設備の普及が犯罪減少に寄与していると思われます。

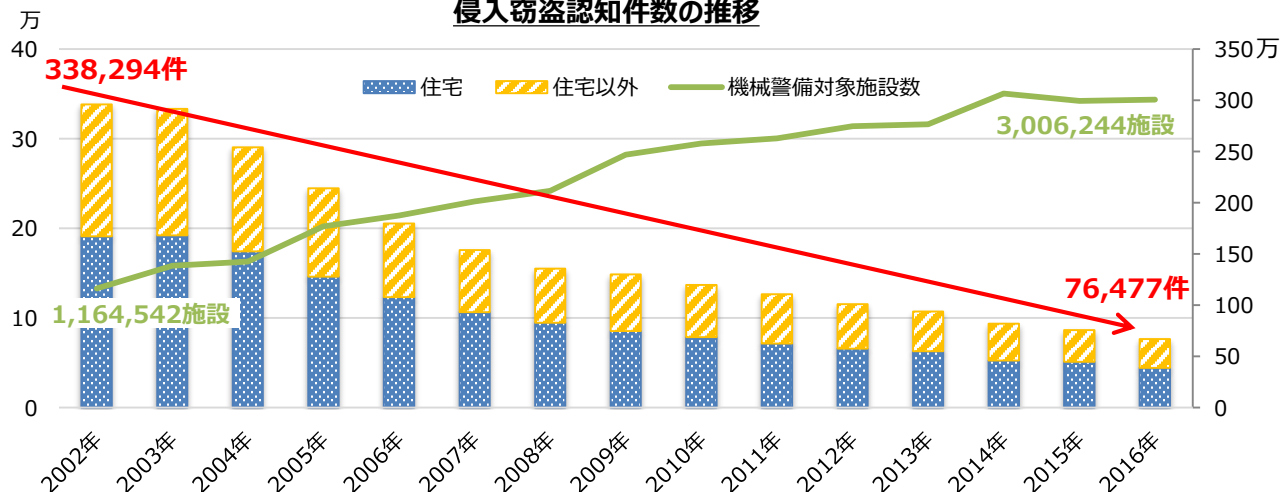
防犯対策の経年比較



出典：法務省・法務総合研究所「犯罪被害に関する総合的研究 -安全・安心な社会づくりのための基礎調査結果（第4回犯罪被害者実態（暗数）調査結果） 防犯対策の経年比較（2013年）」をもとに作成

機械警備を設置する施設の増加に伴い、侵入窃盗認知件数は減少を続けている。

侵入窃盗認知件数の推移



出典：警察庁「平成23年の犯罪情勢（2012年）」、「平成28年の犯罪情勢（2017年）」および、警察庁「平成14年～平成28年における警備業の概況（2003年～2017年）」をもとに作成

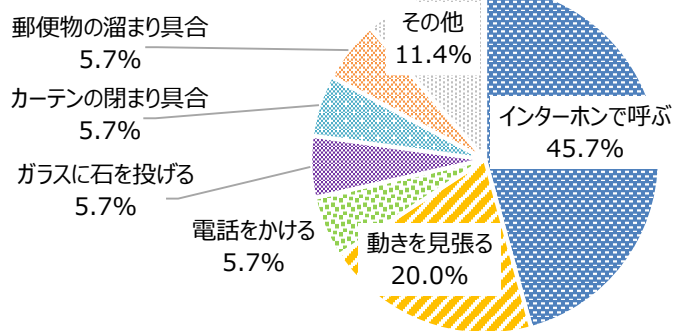
空き巣が標的にする家の3条件

1. 長期間、留守にしている可能性が高い家
2. 手間をかけずに侵入できる家
3. 周囲に気付かれずに侵入できる家

1 長期間、留守にしている可能性が高い家

空き巣に「留守にしている」と確信を持たれてしまうような家は、標的になりやすい家といえます。以下に挙げる点が留守かどうかの判断材料にされるといわれていますので、**不在を悟られないような対策を講じておきましょう。**

侵入窃盗犯の留守の確認方法



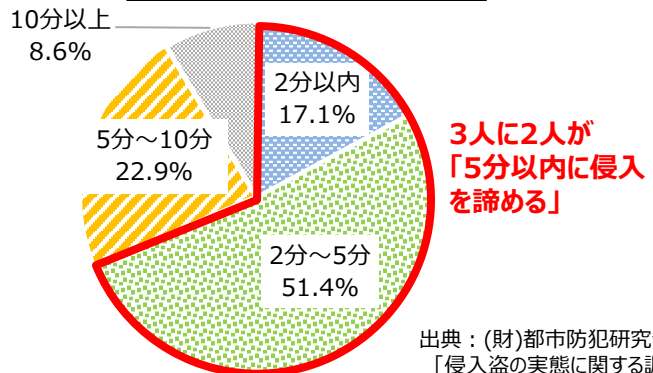
出典：(財)都市防犯研究センター
「侵入盗の実態に関する調査報告書」(1994年)

2 手間をかけずに侵入できる家

空き巣が家に侵入するためにはまずその経路を作らなければいけません。侵入経路作りに時間がかかると通行人に目撃されたり家人が帰ってくるリスクが高まるので、空き巣犯は短時間で侵入できる家に目を付けます。

元・空き巣を対象とした調査では、3人に2人が「5分以内に侵入を諦める」と答えていることから、**侵入に手間がかかりそうな家だと思わせることが対策のポイントになります。**短時間の外出であっても、対策するように心がけましょう。

侵入犯が侵入をあきらめる時間

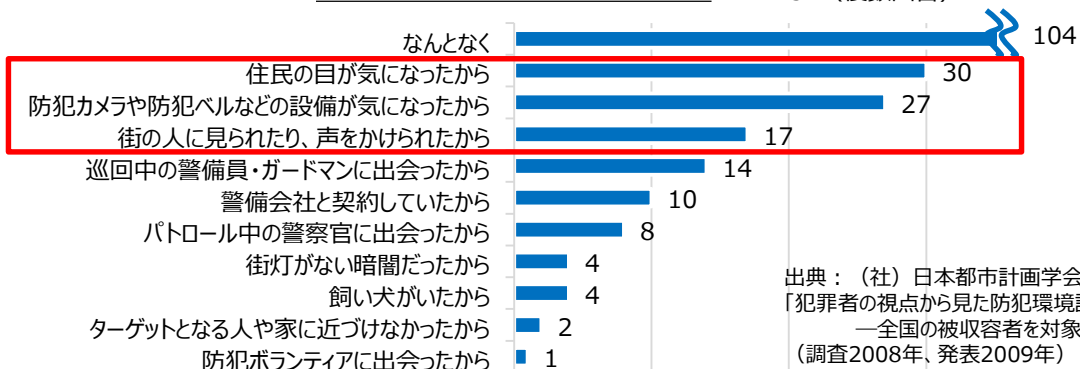


出典：(財)都市防犯研究センター
「侵入盗の実態に関する調査報告書」(1994年)

3 周囲に気付かれずに侵入できる家

元・窃盗犯が犯行を思いとどまった理由の統計を見ると、犯行中に周囲に気付かれてしまうことを恐れる空き巣は多いようです。**「この家に入ると周りに気付かれてしまいそうだ」と思わせるような対策をとりましょう。**

窃盗犯 犯行を思いとどまった理由 N=154 (複数回答)



出典：(社)日本都市計画学会 都市計画報告集No.8
「犯罪者の視点から見た防犯環境設定の有効性の検討
—全国の被収容者を対象とした質問紙調査報告—」
(調査2008年、発表2009年)

留守を悟られないための4つの対策

誰も電話に出ないのはNG! 可能であれば、携帯電話に転送する

空き巣犯が標的の電話番号を知っている場合、電話をかけることで留守かどうかを判断することがあります。最近では携帯電話に自動転送できる電話が増えているので、可能であれば**携帯電話に転送する**と安心です。

留守番電話のアナウンスでも、「○日まで留守にしています」というような内容はやめましょう。

例えば、普段から「迷惑電話対策のため、最初にお名前とご用件を伺っています」というアナウンスにしておけば、留守だと確信を持たれない上に、「声」という証拠を残したくないと考える相手からの迷惑電話や詐欺電話を撃退する効果も見込めます。



郵便受けに配達物を放置せず、配達を一時停止する

郵便受けにある配達物が取り込まれていない状態から、家に入出入りする人がいないということを知られてしまいます。特に年始は、**年賀状を郵便受けに放置しておくことは非常に危険**といえるでしょう。長期間留守にする場合は、**新聞は販売店に配達を止めるように、郵便物も郵便局に不在届を提出して配達されないようにしておきましょう。**

外からは留守と分からない工夫を!

タイマーでON/OFF設定ができる照明器具などがあれば、夜間に電源が入るように設定しておくと安心です。タイマー機能がついていない場合は、ホームセンターで1,000円程度で販売されているコンセント設置型の電源タイマーを使ってスタンド灯などを点灯させる方法もあります。昼間なのに雨戸やカーテンが閉まっていると、留守ではないかと勘ぐられてしまうので、**補助錠や防犯フィルムなど、窓の防犯対策をしたうえで、レースのカーテンのみを閉めるなど、普段通りの生活と変わらなく見える工夫をするように**しましょう。**タイマー設定やスマートフォンで、外出先からでもカーテンの開閉ができるグッズ（数千円程度）を活用する**のもよいでしょう。

年末年始は、クリスマス飾り、正月飾りなど、家に飾りつけをする機会が多いものです。しかし、クリスマス飾りが年の瀬まで飾られていたり、極端に早い時期に正月飾りを出しているような家は、長期不在中と思われる可能性があります。**クリスマスや正月飾りの飾りつけや片付けは適切な時期に行うのがよい**でしょう。

留守にすることが分かる行動を避ける SNS投稿は帰宅後に

住人の動きを見張ることで留守を見抜くという窃盗犯も多いようです。もし、キャリーバッグなど大きな荷物を持って出かけていくところを見られてしまうと、これから長期間留守にすると確信を持たれてしまうでしょう。可能であれば、**大きな荷物は宅配便などで予め目的地に送っておく**ことをおすすめします。

出かける際には家に誰もいなくても「行ってきます」と声をかけるようにするとよいでしょう。



また、SNSなどで「○日まで家族旅行中」と投稿すると、過去の投稿など様々な手がかりの中から投稿者の住所を特定され、空き巣の標的となるおそれがあります。**外出中は、家を留守にしていることが分かる投稿は避け、友人などに知らせたい報告は、帰宅後に投稿することをおすすめします。**



空き巣に狙われにくい家にする3つのポイント

空き巣の標的にならないためには、家庭だけでなく地域一体となって空き巣犯が犯行をしにくい環境を作ることが重要です。

① 周囲から見えにくい場所をなくす

空き巣の多くは窓を破って侵入することを企てるので、周囲の目を気にせずに作業ができる窓があればそこは格好の侵入口となります。**侵入経路になりそうな場所は、可能な限り見通しをよくしておくことが大切**です。**庭の植栽などが視界を遮っているようなら、枝を切る**などして見通しをよくしておくといでしょう。

集合住宅では上階の住居ほどベランダが無防備になりがちですが、一戸建てにおいても上階の窓のほうが防犯対策が手薄になる傾向があります。ベランダに登れば路上からは死角になるので、周囲に気付かれずにガラス破りの作業を行うことができます。上階の窓を狙いたい空き巣にとって、足場がある状態はまさに「**渡りに船**」。**上階に登るための足場となり得る物は庭に置かない**ようにし、エアコン室外機や近隣の電柱などの、どうしても移動できないものがある場合は、**忍び返しを設置する**などの対策をとりましょう。

■ 人目に付きにくい場所には防犯カメラを設置

周囲から見えにくい場所ほどリスクが高いといえますが、そのような場所を第三者の目で自然に監視してもらえる環境に変えるというのは、なかなか難しいものです。そんな**人目につきにくい場所で人の目の代わりに活躍するのが、「防犯カメラ」**です。近年では家庭向けのリーズナブルな機種や、ネットワークを使って遠隔地から、スマホでライブ映像を確認したり通話することができる機能を持った機種も増えています。

■ 音と光で発見しやすくする

犯行を目撃されることを恐れる侵入窃盗犯は、「音」と「光」を嫌うと言われます。**踏むと大きな音の出る防犯砂利を庭に敷いたり、窓ガラスに衝撃が加わるとブザーが鳴動する装置を設置しておくことなどが対策として挙げられます。夜間の防犯対策には、音や動く物体を感知して点灯する「センサーライト」も有効**でしょう。

② 犯行の証拠が残るようにする

前述した「侵入窃盗犯の留守の確認方法」で最も多かったのが、インターホンを押して呼んでみるという方法です。これに対して在宅を装うことは難しいので、いかにしてインターホンを押させないようにするかを考えましょう。**犯人は証拠を残すことを嫌うので、「録画機能付きのインターホン」を設置するのがおすすめです。**さらに、ボタン付近に「録画中」といったことを書いておけば、安易に押せなくなるでしょう。**訪問者があるとスマートフォンを介して対応できる機種**であればなお良いでしょう。玄関以外にも、**侵入経路となりうる場所には「防犯カメラ」**を設置しておきましょう。

③ 防犯意識の高い地域であると感じさせる

「窃盗犯が犯行を思いとどまった理由」として、「住民の目が気になった」、「街の人に見られたり声をかけられた」という意見が上位にありました。犯行の未然防止を図る上で「**地域住民の防犯意識の高さ**」は**重要な要素**であるといえるでしょう。住民同士のコミュニケーションや、防犯意識をお互いに高める行動が重要といえます。

地域住民の防犯意識の高さが感じられるOK行動

- ◎ あいさつが活発に行われている
- ◎ 各住居に共通の植栽や外灯などが置いてある
- ◎ 「みなさんの通報のおかげで〇〇犯が逮捕できました」という様な掲示物がある

<空き巣が嫌う防犯設備>

LED式センサーライト（人感・音感）



人や車の動き・音を感知して、ライトを自動点灯させます。点灯時間は2秒～10分の間で調節可能です。

シンプルテレビドアホン（録画付）



録画機能付きで、訪問者の画像を30件まで保存できるインターホンです。

IPカメラ（屋外用）



IP66の防水防塵性能を持っており、風雨にさらされる玄関・駐車場などの屋外でも安心して設置できます。100万画素の高画質で撮影が可能で、暗闇での撮影にも対応しています。

商品に関するお問い合わせ 0120-39-2413

「いざというときにALSOKに駆けつけてほしい」という方におすすめのサービス

【ALSOKホームセキュリティ】

空き巣対策に最も高い効果を発揮するサービスといえば、「ホームセキュリティ」でしょう。自宅に各種センサーを設置することで、ALSOKが24時間365日、お客様に代わって自宅を見守ります。何かトラブルがあってもすぐにALSOKのガードマンが駆けつけて対処、報告してくれるので安心です。

値段も月々3,500円（税別）からとお手ごろな設定になっています。



ホームセキュリティBasic

マンションや戸建てなど、日本の一般家庭に最適な、万能型のセキュリティシステム。



HOME ALSOK プレミアム

二世帯、店舗や事務所併用住宅などの大型住宅にも対応し、高度なセキュリティシステムを搭載した進化した型

詳しくは <http://www.alsok.co.jp/person/homealsok/>

外出先からスマホで映像を確認できる 家庭用防犯カメラ

【Viewla IPC-06HD（屋内用）】



接続から視聴まで、数分もあれば誰でも簡単に設置できるのが特徴のIP防犯カメラです。手軽でありながら100万画素の高画質で、暗所撮影や相互通話機能など多彩な機能を備えています。

詳細、お買い求めはこちら

http://guardman-shop.com/shop/item_detail?item_id=1561294

空き巣に侵入をあきらめさせる 窓際の防犯対策におすすめの商品

【防犯補助錠 ALSOKロック】 「ALSOKの防犯・防災グッズ通販ショップ」人気No. 1 商品です

引戸式のアルミサッシ窓の内側ガラス面に直接粘着シールで貼り付けるだけで簡単に設置できる補助錠です。

外部からは、補助錠の接着面に印刷された「ALSOKマーク」が見え、犯罪抑止が期待できます。

詳細、お買い求めはこちら

http://guardman-shop.com/shop/item_detail?item_id=1559634

※賃貸物件に取り付けを希望の際は、事前にオーナー様、もしくは管理会社様へご確認願います。



【防犯砂利「ALSOK音砂利」】

庭に敷いておくだけの、お手軽防犯対策です。侵入者が音砂利を踏みつけると、約80dBの大きな音を発します。

詳細、お買い求めはこちら

http://guardman-shop.com/shop/item_detail?item_id=1561254



【防犯センサー「どろぼーセンサーⅡ」】

ガラスの破壊、窓の開閉を検知して、アラームが鳴るセンサーです。貼るだけで簡単に取り付けできます。

詳細、お買い求めはこちら

http://guardman-shop.com/shop/item_detail?item_id=750553

※賃貸物件に取り付けを希望の際は、事前にオーナー様、もしくは管理会社様へご確認願います。

